

果樹農家流ソーシャルディスタンスの取り方(笑)



脚立は2mくらい。ちょうどよい距離を保ってます。いかがですか、ビート〇ズ風?



2020年夏 第7号
発行:カノハタ
編集:松崎智美
山梨市市川1908
TEL:0553-23-1772



草刈りをしながら
花かんむり作り



1/2成人式。20歳まで
タイムカプセル封印!



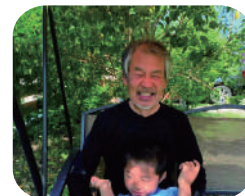
次男の卒園で、ちょっと
寂しい園主妻。

皆さまいかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染予防のための外出や営業の自粛で、心や体の不調が出ている方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。最前線でウイルスと戦う方々には、感謝の念に堪えません。姿の見えないウイルスに人の社会が翻弄される中、人以外の世界との行き来する私たち農家。いつもと同じように生長を続ける、変わらぬ動植物の営みの中で作業していると、何だかとても不思議な気持ちになります。今年も期を迎えて芽吹き、草が生え、花が咲き、虫や鳥が飛び交う。ぶどう棚の支柱に使っている中古の電柱に空いた穴に、シジュウカラが子育てをしています。ここならぶどうの作業に邪魔されることなく巣立つことができます。もしも。

田舎暮らしはいいと思いつつも、仕事がないと移住はなかなか難しい、と思う都会暮らしの方々。テレワークやホームスクールがこれを機に普及すると、山梨へも移住しやすくなるかも、などと妄想しています。山梨で子育てや、週末農業なんというの、なかなかいいものですよ。



園主カズ。花がらや目に入るゴミをフェイスシールドでシャットアウト



父、ますます元気です。



母も、元気です。



長さを揃えて5~6本の束にします。子供たちもお手伝い。

桃の剪定は1月頃するのですが、何本かの木は剪定をせずに残し、木の水揚げが始まる頃剪定します。それを室内など温かいところに1~2週間おいておくと蕾がふくらみ、ひと足早く開花します。今年はカノハタがいつもお世話になっている東京江戸川区のケーキ屋さんラトリエ・ドウ・シユクルさんにお届けしました。



春のお届け



↑荷台に乗って畑を移動日よけ対策は万全。

←マイマイガの毛虫~

楽しく果物作ってます!!
桃と葡萄の作業の最盛期の5月6月には、カノハタに頼もしい助っ人がやってきます。手は休みなく動かしながら、葡萄や桃の栽培の事、世の中の事、子供の事、今夜のおかずの事など情報交換は抜きかりなく。この病気が始まったね、とか、生育が早いね、などたくさん目があるからね、気づけることもあります。キジやカッコウの鳴き声、キツツキの音、たまに鹿やイノシシが日中から通りかかったり。今年マイマイガの毛虫が大発生。自然に育まれる果物のまわりでは、常にいろいろな動物との関わりがあります。



←富士山を望める展望コーナー
↓畑の傾斜をゆるくするためにつけた段差。1m以上あり危険なので塀を取付け。



セルフビルドで塀づくり
農閑期の仕事の一つにほ場の整備があります。ぶどう棚の新設や修理、苗の育成や植付、鳥獣害対策など。畑を見回せば、見回すほど気になるところも増えていきます。今年整備したところの一つはコンクリート壁の段差のところの塀です。少し高めで危険なので板を張りました。昨年柱を立て、そのまま一年が経過し、今年ようやく板を取付けることが出来ました。



←帰りはずっと登り。まだまだ着かない...

↓近所のお団子屋さんの軒先でごほうびの餅を頬べる老夫婦のような二人。



登校練習
この4月に小学校に入学したピカピカの一年生の次男。重いランドセルを背負って学校まで20分ほど歩きます。コロナウイルスによる休校が続く中、少しでも上級生に遅れを取らないようにと、ランドセルに中身を入れて同じく一年生のお友達と学校まで歩く練習をしていました。帰りにバテ気味のお二人、学校が再開された今は暑い中ですが、頑張っています。